

2017年度 南地区 市政懇談会

次 第

[日時] 2017年10月2日（月）18：00～20：00

[場所] 南市民センター 第二会議室

司会進行： 市民協働推進担当部長 平林 隆彦
南地区町内会・自治会連合会 副会長 戸塚 雅夫

○ 連合会長の挨拶 [18:00～18:05]

南地区町内会・自治会連合会 会長 吉次 誠吉

○ 市長の挨拶 [18:05～18:10]

町田市長 石坂 丈一

○ 職員の紹介 [18:10～18:15]

第1部 地域の要望に関する意見交換 [18:15～19:05]

1 南地区洪水対策の確認

①境川整備対策 【下水道部】

②境川洪水及び内水氾濫に危機感を持つ、金森・南町田・
鶴間地区への対応 【下水道部】 【防災安全部】

③豪雨時の南地区各所の道路冠水対策 【道路部】

④南つくし野地区の、やなぎ公園の排水処理、水位警報
柱の見直し 【下水道部】

2 南町田駅をターミナルとした交通網の充実要望

①南町田駅発着バス便の経路新設 【都市づくり部】

②町田バスターミナルと南町田駅間のバス（西田ルート）
の増便 【都市づくり部】

③南町田駅へのモノレール路線延伸 【都市づくり部】

④町田街道（南地区）の日常化した交通渋滞解消のため
の拡幅整備あるいは方策 【道路部】 【都市づくり部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告 [19:05～19:55]

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 南地区町内会・自治会連合会 副会長 谷村 達夫 [19:55～20:00]

2017年度 南地区町内会・自治会連合会 市政懇談会
議事録(要旨)

[日 時] 2017年10月2日(月) 18:00～20:00

[場 所] 南市民センター 第二会議室

[出席者] 石阪市長

防災安全部長 福田

道路部長 楠本

都市づくり部長 神蔵

下水道部長 大場

政策経営部広報担当部長 谷

市民部市民協働推進担当部長 平林

市民部南市民センター長 溝口

市民部市民協働推進課長 若林

市民部市民協働推進課担当課長 中坪

市民部市民協働推進課担当課長(地域担当) 大谷

市民部市民協働推進課(2名)

南地区町内会・自治会連合会長 ほか12名

司会進行：市民協働推進担当部長

南地区町内会・自治会連合会副会長

○地区連合会長の挨拶

本日は市長を初め、町田市行政の責任者の方々、わざわざ出席いただき、ありがとうございます。また、南地区連合会の方々も、出席ありがとうございます。

この場をかりて南地区で抱えるいろいろな課題について市と相談して、今後どのように対処するか意見交換したいと思います。よろしくお願いします。

○市長の挨拶(町田市長)

皆様、こんばんは。平成29年度の市政懇談会は本日が1回目、先頭バッターを引き受けていただき、ありがとうございます。その年度の市政懇談会を市内で最初に行うのは大変なことです。ありがとうございます。

本日は幾つかご要望がありますが、そのことについて市から回答をすると

同時に、また議論をする場だということでお時間を共有したいと思います。最初の議題では、やなぎ公園の話が出ています。南つくし野自治会の納涼大会の日に私も現地におりまして、しっかりひざ上まで水に浸かりましたから、濡れたというだけの状態ではないのですが、私も油断していて、いきなりこんなに水位が上がってくるとは思っていなくてびっくりしました。洪水対策、内水排除は結構大変な問題であります。あの公園については水をためるためにつくってあるので当たり前の話ですが、すごい勢いでしたのでちょっとびっくりしました。

幾つか議論があろうと思いますが、ご要望以外の市政全般については、この後、第2部でお話をさせていただいて、皆さんからご意見をいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○出席者の紹介

第1部 地域の要望に関する意見交換

1 南地区洪水対策の確認

日本の気象現象は、ここ数年大きな変化があり、今年も各地で発生した集中豪雨により全国で数多くの地域が多大の被害をこうむりました。

いつ、どこで発生するか分からない集中豪雨を想定し、境川の氾濫及び、南地区道路の冠水等の現時点（今日、明日）での対策について伺います。

①境川整備対策は？

②境川洪水及び内水氾濫に危機感を持つ、金森・南町田・鶴間地区への対応は？

③豪雨時の南地区各所の道路冠水対策は？

④8月19日18時頃、町田駅周辺を襲った集中豪雨を踏まえ、南つくし野地区のやなぎ公園調整池の排水処理、水位警報柱の見直しは？

2 南町田駅をターミナルとした交通網の充実要望

町田市中心部と南町田駅間の公共交通（バス便）が非常に乏しい現状です。

現在、南町田駅周辺の整備事業が推進中で、2～3年後には商業施設などの開業も予定され、人口増も予想されます。この機会に、町田駅界限と南町田駅周辺を密に結ぶ交通手段を増やし、人的交流を促進することで、相乗効果による双方の発展を狙う事ができると思われれます。また町田駅と南町田駅の間に住む南地区約7万人の活性化にも寄与、期待されます。（交通空白地区と交通不便区の解消）

①南町田駅発着バス便の経路新設の要請。

（例）町田街道ルート＝町田駅 小川ルート＝成瀬駅 つくし野ルート＝成

瀬駅)

- ②町田バスターミナルと南町田駅のバス、現在の西田ルートを増便の要請。
- ③南町田駅へのモノレール路線延伸の要請。
- ④南地区町田街道の日常化した交通状態解消の拡幅整備あるいは方策は？

【回答】

下水道部長

1-①

境川の河川整備状況については、神奈川県管理区間の根岸橋から上流部及び鶴間地区の鶴瀬橋から相模湾（江の島）までの下流部は、未改修部分などがあり、おおむね1時間当たり30mm降雨に対応する能力しか有しておりません。

東京都管理区間の根岸橋から鶴瀬橋までは、1時間当たり50mm降雨対応の護岸整備がほぼ終了していますが、下流の1時間当たり30mm降雨対応の能力に合わせる必要があり、川底を掘り下げずに下流に流す量を抑制している状況です。

東京都は、多摩地域では、目標整備水準を1時間当たり65mm降雨対応に引き上げる整備方針を定め、境川においてもこの方針に基づき調節池等の整備を進めていくこととしています。この対策により、近年増加している1時間当たり100mm程度の局地的な短時間集中豪雨にも効果を発揮するとのことです。

現在、東京都は境川で2カ所の調節池を整備する計画を進めており、そのうちの1つが金森地区の西田スポーツ広場に計画されている境川金森調節池であります。

町内会・自治会の皆様からは、毎年、市政懇談会の場で河川整備についてのご要望をいただき、寄せられたご意見やご要望につきましては、河川管理者である神奈川県や東京都に伝えるとともに、市としても定期的に河川整備を要望しております。今後も、河川管理者である神奈川県と東京都へ境川の早期整備を要望してまいります。

1-②

まず境川の洪水対策につきましては、東京都が金森地区の西田スポーツ広場に計画している境川金森調節池がございます。

東京都によりますと、貯留量約15万 m^3 の境川金森調節池が完成すると、調節池による水位を下げる効果により、金森・南町田・鶴間の南地区の区間で、溢水を防ぐ効果を発揮するとのことです。

次に内水氾濫に対する対応ですが、お話しいただいているとおり、近年の集中豪雨により市内全域で道路冠水や床上、床下浸水が発生しているところですので。これに対応するため、2011年から2015年の浸水被害状況を再調査いた

しまして、浸水被害対策の見直しを行いました。

この見直しと以前から把握できていたものも含めまして、現在、南中学校周辺、東名横浜町田インター周辺、鶴間小学校周辺における、浸水被害対策の対応を検討しております。

また、浸水対策事業につきましては、国土交通省が行っています町田立体事業にあわせて国道16号（万葉の湯前）の横断と、南つくし野やなぎ公園付近において雨水管整備を実施しております。

なお、町田市では現在、浸水被害の対策として、500㎡以上の開発行為や延べ床面積1000㎡以上の建物について、条例や要綱に基づき雨水浸透施設の設置を義務づけ、または指導しており、そのほかの建物についても、「町田市排水設備指針（2012年度改定）」に基づいて、雨水浸透ますの設置を指導しております。また、2016年4月からは雨水浸透設備を個人宅地に設置する方に20万円を限度として補助金を交付しております。

防災安全部長

1－②

風水害時に境川が溢水または内水氾濫が予想されるときは、市では気象庁、河川を管理する東京都や神奈川県からの情報を受けてあらかじめ定めている基準に基づき、「避難準備・高齢者等避難開始」や「避難勧告」等を発令し、適切なタイミングで避難を呼びかけることとしております。

こうした情報は避難施設の開設状況とあわせ、防災行政無線やフリーダイヤル、防災情報メール配信サービスなどによりお知らせいたしますので、テレビの気象情報とあわせて注意していただきたいと思えます。

なお、風水害時は窓を閉め切っているなどで、防災行政無線が聞き取りにくい場合も考えられますので、防災情報メール配信サービスを登録されていない方は、ぜひ登録をお願いします。

また、フリーダイヤルでは防災行政無線の放送を無料で電話で聞くことができます。電話番号は0800-800-5181ですので、こちらもぜひご活用ください。

最後に避難が必要な場合であっても、風雨が激しくなり外へ出ることが危険な場合には、高齢者・障がい者・病気やけがをしている方等は無理に避難施設に移動せず、自宅や近隣建物の2階以上へ緊急的に一時避難したほうが安全な場合がございます。

道路部長

1－③

事前の対策としては、梅雨や秋の長雨の前、台風の接近が予想される際などに、事前パトロールを実施し、側溝状況等の確認や清掃を行っております。また、市道から宅地内への雨水流入を防ぐため、ご希望の方に事前に土のう

の配付を行っております。土のうについては、ご予約の上、市庁舎や土木・公園サービスセンターにて受け取っていただくことが可能です。

気象庁の情報などを随時確認し、豪雨が想定される際は、日中・夜間・休日とも、緊急対応が可能な体制をとり、通報を受けた際には、現地に職員が急行し、対応しております。

道路冠水が発生してしまった箇所については、状況と原因の調査を行い、側溝などの土砂を除去する、側溝蓋の種類を変更する、新たに集水ますや側溝を設置するなど、状況に応じた改善策を検討し、順次実施しております。

今後も、大雨・集中豪雨は増加することが見込まれています。短時間で大量に降る道路上の雨水を、円滑に排水できるよう、引き続き対策を検討してまいります。また、道路冠水に至る経緯として、宅地や山林等の私有地など道路以外からの雨水排水が道路上へ流れ込み、冠水するというケースも多いため、関連する他部署と連携し、全庁的に対応して参ります。

なお、集水ます上に落葉やごみが堆積しているだけでも、雨水を排水できず、冠水の原因となってしまいます。地域にお住いの皆様におかれましても、集水ます上に落ち葉やごみの堆積を見つけた際には、清掃のご協力をお願いいたします。

下水道部長

1-④

8月19日土曜日のゲリラ豪雨時、やなぎ公園調整池に設置されている雨量水位計では19時から19時20分までの20分間で47mm、水位は4 m 52cmを観測しております。

やなぎ公園調整池は、周辺流域の雨水を一時貯留し、調整池からの流出量を抑制し、下流域の浸水被害の軽減を図る目的の施設です。普段は雨水がたまらない公園の一部も同様の機能を有しておりますが、晴天時は公園の広場として開放しております。

当日の4 m 52cmの最高水位から10cmの水位に低下するまで、約5時間を要しています。貯留時間を短縮し、公園として利用いただくには、調整池からの流出量をふやす必要がありますが、下流域への浸水被害のリスクが高まるため、排水処理の見直しはできません。

今後も、適切な一時貯留機能を維持するため、定期点検と降雨前点検を実施してまいります。

また、水位警報柱は、水位計と連動しており、警戒水位3 m 20cmに達した場合に赤色回転灯が作動し、下流域の方々に注意を促すものですが、別途公園利用者の方にも注意を促す方法を検討してまいります。

今後は、南つくし野やなぎ公園と同様に調整池機能を有する公園について、「危険水位表示」の新設を行い、公園利用者へ注意喚起を図ります。

都市づくり部長

2-①②

南町田駅発着のバス路線の新設や町田ターミナルと南町田駅を結ぶ「町89系統」の増便につきましては、これまでもバス事業者と再三協議を行ってまいりました。

南町田駅発着のバス路線の新設につきましては、今後、南町田駅周辺のまちづくりや周辺道路の整備状況を踏まえ、引き続き、バス事業者と協議を進めてまいりたいと考えております。

町田バスセンターと南町田駅を結ぶ「町89系統」の増便につきましては、バス事業者から、増便に向けて前向きに検討していくとの回答をいただいております。2017年4月1日には、車両の大型化を行い、運行を行っているところでございます。

現在は、車両の大型化以降の利用状況を見定めるために、調査を行っていると聞いております。

2-③

多摩都市モノレールの多摩センター駅から町田駅までの延伸につきましては、2016年4月の交通政策審議会答申において、「道路整備の進捗を見きわめつつ、事業化に向けて関係地方行政団体・鉄道事業者等において具体的な調整を進めるべき」とされ、整備の意義・効果が高く評価されたところでございます。

これを受け、市は、東京都・多摩都市モノレール株式会社・多摩市などの関係者と連携しながら、事業実施に向けた検討・協議を進めているところでございます。

まずは、答申に位置づけられた町田駅までの早期延伸実現に向けて、市の総力を挙げて取り組んでまいります。

ご要望いただきました「南町田駅へのモノレール路線延伸の要請」につきましては、町田駅までの延伸が実現した後の検討課題とさせていただきたいと考えております。

道路部長

2-④

町田街道は、東京都が管理する道路です。東京都では、交差点における右折待ち車両による渋滞を緩和し、円滑な交通を確保するため、右折車線を設置する工事を進めております。

JR横浜線と交差する南橋交差点から、国道246号と交差する町田市辻交差点までの区間のうち、南橋交差点、金森郵便局前交差点、町谷原交差点、町田市辻交差点については、既に右折車線の設置が完了しております。現在、

小川交差点から町田市辻交差点までの区間について、各交差点に右折車線を設置するための用地取得を進めているとのことでした。

また、町田街道に並行する都市計画道路3・4・37号線、3・3・36号線の整備も、町田街道の渋滞緩和に寄与する方策となります。

都市計画道路3・4・37号線の国道16号から町谷原通りまでの約500mの区間については、町田市が施行を行い、2016年12月に開通いたしました。

都市計画道路3・3・36号線は東京都が施行する道路で、国道16号から町谷原通りまでの区間については、現在、用地取得中です。町谷原通りから北については、今年度から地形特性などを踏まえながら、道路の線形や構造などを検討するための予備設計に着手していくとのことでした。町田市としては、地元市として協力できる部分は東京都に協力しながら、早期完了を目指していきたいと考えております。

ご説明は以上ですが、1点お知らせがございます。先ほどご説明しました市で施行した都市計画道路3・4・37号線について、皆さんに親しんでいただけるよう、道路愛称を募集しています。募集期間は10月1日から20日までです。詳しくは、「広報まちだ」10月1日号や市ホームページをごらんいただければと思います。ご応募よろしくお願いたします。

《質疑》

(司会) 地区連合会副会長

まず、項目1について質疑応答をしていきたいと思っております。

南つくし野自治会

南つくし野自治会の〇〇と申します。

納涼大会でのやぐらの水没の件でメディアの取材が市を初めいろいろなところにあったようで申しわけないと思っていますので、改めて、今回の要望に至るまでの経緯について説明させていただきます。

今年7月、8月の土曜、日曜の、市内の各町内会・自治会の夏祭りは、雨のため中止や雨に降られながらのお祭りになったことと思います。その中で私たち南つくし野自治会の納涼大会ではやぐらが水没し、皆様にご迷惑をおかけしました。8月16日の納涼大会は、開始15分ぐらいでゲリラ豪雨に見舞われて雷も激しく、公園内のテントの中にとどまりたい心境ではありましたが、豪雨の勢いが物すごく多く、長く降り続けると足元のグラウンドの上に水がたまり始めます。実は調整池の上にあるやなぎ公園は、全体の約4分の1を占めるグラウンドよりももっと低い位置にテニスコートがあります。まず、そこに雨がたまり始め、それを超えるとあっという間にグラウンドに水が流れ込むようになっています。

今回も、そのテニスコートにたまっていく水位の報告を受けながら、レー

ダーに映る雨雲がこの地域にしばらく停滞するという情報から、すぐに納涼大会を中止して、会場にいた人にはグラウンドの上に移動するようにお願いしました。屋根のついているやぐらの上には太鼓とともに3名の太鼓の方が避難したのですが、グラウンドの水位がどんどん増し、取り残される状態になったためにレスキュー隊が来てくださいました。その間に雨は小降りになり、水が引くのも早かったものですから、やぐらに避難された方々はレスキュー隊とともにグラウンドを歩いて渡って階段を上がっていただくことができ、ほっとしました。市長さんを初め多くのほかの町内会・自治会の会長さんにおいでいただきましたが、階段の上に上がられるまでにはズボンもひざまでぬらし、多分ずぶぬれで皆さんお帰りになったことと思っております。本当に申しわけありませんでした。

その際、市長さんからは、ぬれそうになっている提灯の数々を見て危険なので消灯するように助言していただき、大変助かりました。また、レスキュー隊が来るまでの長い間、雨の中で公園を見守っていただき、心強く感じました。本当にありがとうございました。市長さんを初め消防、警察の方々、関係機関の皆様のご協力のおかげで、けが人を出すこともなく終了でき、本当にほっとしています。

要望の話に入ります。平成元年7月29日に市との10年以上の折衝の上にやっと調整池が改修され、やなぎ公園として整備されました。もう26年も前のことになります。この公園の位置関係は、公園の前につくし野中学校、その奥に南つくし野小学校があり、小学生の野球、テニスの球打ち、中学校のクラブ活動のランニング、テニスコートでは中学生や住民のテニスの練習や試合等、学校だけでなく、いろいろな年齢層の方々に活発に利用されています。南つくし野自治会の区域は、南つくし野一丁目から四丁目と、南つくし野の全域ですが、ちょうどこの公園が区域の真ん中に位置するため、自治会活動の拠点になっています。夏の納涼大会、秋の青空コンサート、冬は歳末夜間パトロールの拠点、毎月の土曜朝市と、自治会活動の大きな行事はほとんどこの公園で実施され、年間を通して多くの人たちとかかわりの深い公園となっています。

この公園が小雨や大雨にかかわらず、危険を伴うことから使用できにくくなることは、自治会活動の手足をもがれるほどの痛みを負うことと同じです。公園は絶対に安全安心であってほしいと願っています。よって、改修案として次の2点を提案します。公園下に埋まっている大きな管をもっと大きいものにしてもらえないでしょうか。または公園の上にふたをするような形でグラウンドを高くしてもらえないでしょうか。

先ほどのご回答では少し無理そうなお話でしたが、調整池の上にある他の公園も調べてみましたが、大きさやコスト等の条件がいろいろ違うため、これに関しては公園緑地課、下水道課の皆さんに低コストのよりよい方法で何

とか対応していただきたいと思っています。住民の安全安心が得られるのであれば、年月はかかっても構わないと思っています。公園が安全安心な場所になった折には、この大きな広場は災害時の避難場所にもなり、大きな力を発揮する場所になると思います。南つくし野では、つくし野中学校、南つくし野小学校の2カ所が避難所になっています。でも、どちらも坂を登ったり、階段を上ったところに位置し、高齢者からは不便だとの声が上がっており、もしこの公園がより安全安心な場所となれば、こうした声にも応えられますし、最重要な避難場所になると思います。ぜひ公園の改修をお願いしたいと思っています。

下水道部長

公園の下の管を大きくしてほしいということについてお答えします。私も、前から知っているのですが、先日改めて見てきました。流出口をオリフィスと言うのですが、600mmの管が入っていて、他の調整池に比べてもかなり大きいものです。大きくすると、それだけ下流への負担も大きくなります。10cmになるまでに5時間とお話をさせていただきましたが、例えば公園まで下がるのに約2時間、その30分後にはテニスコートのところまで、ここに水位計のデータがあるのですが、そのような状況です。もともとかなり早く引く形になっており、これ以上早くするのは危険かと思しますので、その辺はご理解いただければと思います。大変危険であり、調整池がいっぱいになればここまで来ますと公園緑地課でも看板を立てています。あれ以外にも3方向にある階段やテニスコートにもラインを引き、ここまで水がたまりますという表示を今後していきたいと思っています。

都市づくり部長

調整池にふたをして上部利用ができないのかというお話だと思えます。南つくし野やなぎ公園は、調整池の機能と公園の機能の両方を有する複合機能的な公園です。公園の種類としては、土地区画整理事業で地域が開発されたときに同時につくられた街区公園で、多くの地域の方にご利用いただき大変感謝しています。街区公園は、公園の周囲250m程度の範囲にお住まいの方を対象とした都市公園の区分としては一番小さな公園の位置づけになっています。公園の低い部分、グラウンドとテニスコートの部分は人が出入りして通常利用させていただいていますが、雨が降ったときは地域の浸水対策として調整池の機能が必要であり、雨水を一時的にためる機能となります。この機能を損なわないようにしなくてははいけません。なおかつ上部利用するためには、上部を支えるための柱とか壁をつくらないといけません。このためにもっと深く掘り下げないと、容量を確保できなくなってくることもあります。

地下に貯留することについては、今、テニスコートに水がたまったら、皆

さんにお掃除をお願いしていますが、土砂がたまったりして大変な作業で全面的に大きくなってきますと、物すごい作業量とお金がかかってくることも含め、皆さんに利用していただいている最小単位の街区公園の中に、それだけの費用をかけて上部利用することは現在のところなかなか厳しいと考えているところです。

安全管理については、現在、利用者に対しては公園内に設置している看板で注意喚起を行っていますが、下水道部から危険水位の表示の話もありました。今後、盆踊り等多くの方が集まる団体利用の際には、改めて特に事前の注意事項の説明を丁寧に行い、安全確保に努めていきたいと考えています。

南つくし野自治会

納涼大会の2週間ぐらい前からずっと気象情報を見ていましたが、当日は小雨だろうとか、雨量も2mmぐらいだろうと考えていました。結果的には、あれが2mmかというような豪雨でしたが、同じように雨が降った去年は、雨が降って30分ぐらい待ってから行うことができましたが、今後はこういうことが起こる可能性が高いと思っています。やなぎ公園では、秋に自治会主催の青空コンサートを10数年行っていますが、昼間、小雨の中で行ったことがあります。傘を差して100人ぐらいの子どもたちが歌を歌ってくれることもあって、すごく心配したのですが、吹奏楽部も出演するものですから、いまでは小雨のときは中止にしようということにしています。これまでの自治会活動は、雨にはすごくたたられてきましたが、今回は下から水がたまることになったため、何とか少しでも問題を解決したいと思っています。今の注意喚起だとか看板も対策のひとつとしてはわかります。私が行政の立場でも同じことをやりたいと思いますが、看板だけでは小学生や小さい子どもたちが危険を感じてすぐに逃げしてくれるか、今回の一件ですごく不安になりました。本当に早い時間でたくさん水が上がってきたので、先に上に避難した消防団の方や父兄の方が、公園に残っている子どもたちをすぐに避難させたので、子どもたちも誰もけがをしなかったのだと思うのです。でも、父母が必ず一緒にいるわけではないので、いまの状況は危険だと思いました。水位を示す印、危険を喚起する看板の設置は非常によくわかりますが、無駄とは言わないまでも、これで大丈夫ですとは言えないと思いました。最近の雨は本当に突然来ますので、すごく心配です。

下の管を太くすることはできないのか。今、つくし野三丁目に排水ができる大きな管を埋め込んでいますし、恩田川も排水の管を大きくしたと去年か一昨年に関心しました。何とかそれで排水を賄えないかと思っているのですが、それとともにふたの話は無理なのですか。26年前にもふたの話が出たのですが、柱を立ててふたをした形状にすると、柱分の貯水量が減るので、それでは何にもならないので今の形状になったと聞いています。柱をもう少し細く

すれば、貯水量も少し多くなって緩和できるのかと思っています。

もう1つお聞きしたいのは、26年前に市と交渉したときに、浸水した後は消毒をする約束ができていたらしいのですが、消毒が全然実施されていないらしいのです。いろいろなものが流れてきたりするので、公園なので消毒をするということをお話ししたようでした。いい方法を見つけていただければいいと思いますが、よろしくお願いします。

(司会) 地区連合会副会長

危険な箇所を公園にしておくほうが問題ではないかという感想を持ちましたが、いかがですか。

都市づくり部長

当時、どういう形で利用することになったのか、私もわからない部分があります。今、1次調整池と2次調整池があり、1次調整池は基本的に人が入ることができないようになっています。やなぎ公園は特殊で1次調整池がほぼない状況です。本来は1次調整池に水がたまり、それでもたまり切れないときに2次調整池に水がたまる。町田市内では、公園と調整池が一体になっている場所が大きな公園も含めて43カ所あります。そのうち2次調整池、グラウンドの部分同様、大雨の降ったときには水が来る場所が12カ所あります。過去にふたをかけて上部利用できないか等相談を受けているところがあり、いろいろ検討していますが、柱や壁の容積を確保するためには下へ掘り込まなくてはいけない。自然流下ですので高さが決まっている部分も含め、今度は深く掘ると、その水を、電力を使ってポンプで上げなくてはいけない等、いろいろ次から次へとお金のかかる要素が加わってくるのも1つあります。

町田市としても、大きな公園を避難所として使うことも含め、考えていかなくてはいけない部分もあると思います。当然公園という公の場所ですので、簡易的なもので上に人を載せることはできませんし、しっかりと耐震性能も確保する。それなりに頑丈なコンクリートのものをつくるとなると、かなり余分に下を掘っていかないと容量が賄えないところをご理解いただきたいと思います。

消毒については、そういうお約束があるのであれば、我々としてもしっかりと実施していかなくてはいけないという認識です。ただ、基本的に雨水ですので、汚水があふれてしまうところは当然消毒しなくてはいけないのですが、普通に降った雨水がたまるだけですので、降ったところ、たまったところを全て消毒というのは、我々行政としてもなかなか難しいと思います。この地域は浄化槽のお宅もほぼない、皆さん公共下水につながれていると思います。浄化槽で管理が行き届かない場合、雨水の中に汚れたものが入ってしまうことも可能性はありますが、大分時代も変わり、100%近く公共下水につ

ながっているということであれば、もう1度調査はさせていただき、検討もさせていただきたいと思っています。

下水道部長

管を大きくすることについては、この間は20分間で47mm、1時間に直すと100mm以上の物すごい雨です。普通ですと、そんなにはたまらない。ためるのが調整池の役目ですが、抜けるのも早いと思っています。これ以上大きくすると、下流に迷惑がという心配もあります。今年度は雨水管もできますので、様子を見させていただければと思います。

南つくし野自治会

つくし野三丁目の排水管は大きいものになっています。もしかしたら位置を計算したら流れるのではないかと思いながら今のお話を聞きましたので、様子を見るということで調べていただきたいと思います。

テニスコートを深くすることはできないのですか。あそこに一旦雨水がたまってから流れ出てくるので、あそこが満水になると、危ないから逃げろということになります。今回の納涼大会の折にもテニスコートの様子を見ながら、最終的にもうだめだと判断してグラウンドに行きましたので、あそこを少し深くすることはできないのですか。そうすれば、満水までに余裕ができる分、短い時間で逃げられるのではないかと思います。

都市づくり部長

深く掘ることに対して、当然壁をもう1度つくり直さなくてはいけない。下流へ流れる排水管の高さは決まっていますので、そこまでポンプアップしなくては排水ができない。常時水がたまっている状況になってしまう。テニスコートを早く使いたいこともあると思います。そこは多分お金と時間と利用形態とのバランスだと思いますが、今のところは下へ流れる排水管の底盤の高さを基準にして、テニスコートで水が自然に流れ落ちれば、多少土砂がたまることはありますが、テニスコートは使えるようになります。今のところ、それが我々の中ではバランスのいい使い方だと考えています。今回、物すごく特殊な雨が降ったことも踏まえ、ご理解をいただければありがたいと思っています。

南つくし野自治会

今回の納涼大会のときの雨は稀な例かもしれませんが、あれぐらいの規模の雨は3年に1回ぐらい起きているのです。だから、今後もまた起きると思われることと、災害時の避難所が高いところにばかりにあるものですから、避難のための支援が必要となる人がいることは頭が痛いところはあったの

で、災害時要支援者等を車椅子で連れていくのは私たちの中ですごく困っている事案の1つなので、これを解決するのにもう少しいい方法を何とか考えてもらいたいと思いますが、どうでしょうか。

町田市長

最後の避難施設の件は、食料等いろいろな備蓄という話とセットで考える必要があります。避難広場ならできますが、避難施設となるとかなり大変なことだと思います。備蓄、電気、トイレを全部やなぎ公園でという話ですと、あそこが公園ではなくなり、大きな体育館みたいなものをつくるのと同じ話になってしまうので、そこは難しいと思います。学校以外で避難施設をつくれるかという、現実には学校以外で避難施設はつくりにくいのです。毛布等を含め、いろいろな物資を備蓄しておかなければいけない。学校以外にはそういうスペースもないので今学校を使わせていただいているということです。

総合的な話として、確かにすごい雨が降るようになり、どうやって危険を排除するかを優先して考える必要があるのですが、あのエリアにたくさん公園があるわけではないので、公園としてこれからも使っていきたいとは思っています。やなぎ公園ができたときも、地元の皆さんが公園として使うということで整備を進めてきたわけですから、公園としての安全対策をしっかり考えていくということしかないと思います。例えばブザーやサイレンが鳴る等の対応は、総合的な判断ができるコンピューターで制御された設備みたいなものを入れて、このスピードでここまで水位が上昇したらサイレンを鳴らす、というような対策が考えられます。子どもでも危ないとわかる対策をとることが必要だろうと思います。

テニスコートを1次的な設備として、深く掘ってポンプ装置をつけることはできると思いますが、私は、どちらかという新しい警報装置や避難を促す装置を、人間の目で現場を確認しなくてもできるようにしないとダメだと思っていますので、ほかに例があるかどうかわかりませんが、そうした複合的な要因を加味して判断ができる設備なり装置なりを開発しなければいけない。ただ単に水が上がってきたときに警報が鳴ったのでは、危険がどの程度迫っているかを判断するのはなかなか難しいので、スピードだとか、これからどうなるかも予測して警報を出すシステムを少し考えてみたいと思います。

下水道部長

今は3m20cmになったときに赤色灯が回るようになっています。今回は5分ぐらいでしたので特殊かと思っています。もう少し低い位置からサイレンが鳴る等、わかりやすい形を検討したいと思います。

南つくし野自治会

ありがとうございました。私たちが普段集合するところは、赤色灯が設置されている柱から離れていて、さらに赤色灯に背を向けて集合することが多いので、この位置を少し変えてほしいということは要望に書かせていただきました。よろしくお願いします。

市長、ありがとうございました。あそこの公園がもし大きな広場になったときは、避難所でなく避難広場として、避難場所となるといいなと思っています。自治会のメンバーがそちらに行って車椅子を押してあげる等ができるので、あそこに備蓄倉庫を置いてほしいということではないのです。

(司会) 地区連合会副会長

温暖化で想定外の雨は頻繁に起こることもあり得ますので、その辺のところは頭に入れておいていただきたいと思います。

西田町内会

西田町内会の〇〇です。

①②③を全部含めて、川に水が流れ込まない対策、各家にためるとか、公園にためることが必要になると思うのですが、東京都の今回の目標は65mmで今よりも15mmふやすことになっています。そのうちの10mmが川に水が流れ込まないようにすることで進める対策なのですが、東京都と町田市で何か具体的にやろうという動きがまだ見えていないのです。ぜひ進めていただきたいと思います。

今の西田グラウンドの下の調整池は、15万トンで207億円かかっています。トン当たり14万円弱です。ところが、各家に貯水タンク等をつくったら、トン当たり3～5万円で済み、非常に効率がいいと思うのです。これをやらないと、道路の冠水等の対策もできないのではないかと。今、トン当たり補助金が1万円出ているという話を去年聞きました。その補助率を上げてでも各家で水をためるようになる対応を、町田市全体の目標として立てていただきたいと思います。いかがですか。

下水道部長

東京都と町田市で何かということですが、昨年4月から浸透設備の設置補助を始めています。それは国の補助も東京都の補助も出まして、20万円を上限でやっています。啓発活動は改善の余地があるのですが、今年ようやく申請があり、2件問い合わせ等もあります。ですから、これを機会に広めていきたいと思っています。

あと、ここもお願いしているのですが、市の施設にも、こういう制度があ

ることを知らせるようにしています。雨水タンクも確かに東京都内、例えば大田区や葛飾区、世田谷区も行っていますが、宅地の面積が狭い等の制約のあるところは浸透設備、浸透管を入れるよりも雨水タンクの効果があるので多いと聞いています。ただ、町田市の場合、ある程度敷地面積があるので、地下水涵養も含め浸透施設で行っています。ですから、市としては、まず浸透設備を広めていきたいと今は思っています。

西田町内会

細かいことも言いたいが、また改めて相談したいと思います。

(司会) 地区連合会副会長

南地区連合会は、市長が提唱された南地区協議会をつくっていますが、役所の中に地区ごとの課題について横断的に解決を図るための協議会ができていない。市民協働推進課等を通じて行えば、もっと早く広く浸透していくと思います。ぜひ役所の中に地区協議会をつくり、縦割りにならないようにご配慮いただきたいと思います。

次に、項目2について質疑応答を行っていきます。

金森第6自治会

私、金森第6自治会の〇〇と申します。

要望項目としては出ていませんが、昨年度もお願いした町田バスターミナルのエスカレーターが上りしかないのです、下りをつけていただきたい。買い物して帰ってくるときに階段をおりますが、階段が非常に長いのです。小さいエレベーターはありますが、年配の方は買い物キャスター等を持って乗るので、11人乗りでも11人は乗れません。できましたらターミナルのところに下りのエスカレーターをお願いしたいと思います。南地区の人だけがターミナルを利用するのではなくて、木曽団地とか忠生方面の方もバスの始発としてそこから乗っていきます。大勢の方が利用する場所ですので、ぜひお願いしたいと思います。

都市づくり部長

バスターミナルの真ん中に着いた際にバスをおりて上がってくるエスカレーターとエレベーターが設置されています。バスターミナルが狭く、高速バスのセンター等もあり、もう1本エスカレーターを設置する幅が現実問題としてとれない状況です。状況は十分理解させていただきますが、何とかエレベーターを利用して移動していただければありがたいと思っています。

(司会) 地区連合会副会長

この話は、去年は予算の都合がという回答で、スペースの話は出ていなかったのではないですか。改造するときをお願いしたいという要望だったと思います。

市民協働推進担当部長

去年は経済観光部長がお答えをさせていただいています。記録では「ターミナルプラザは、1983年の建築から30年以上経過しており、既存のエレベーターとエスカレーターを初めさまざまな設備が更新時期を迎えています。安全性の観点から、既存設備の更新を進めているところです。ご要望いただいた下りエスカレーターにつきましては、既存設備の更新が終了した段階で、改めて検討したいと考えております」と答えております。検討を進めているところです。

都市づくり部長

済みません、私、場所を勘違いしていました。バスセンターも下りのエスカレーターがありながら、今、バスセンターの狭いところのイメージで、バスターミナルのイメージをしていなかったのです。

金森第6自治会

私の要望はバスターミナルです。

都市づくり部長

バスターミナルであれば、プラザの建物の改修を含めてということだと思います。

金森第6自治会

階段が結構広くて長いのです。エスカレーターを設置する場所がないのであれば、その階段を削る必要があると思います。

(司会) 地区連合会副会長

どちらにしても改修をするということですので、そのときにどのように設置を検討するかを考えていただくということによろしいですか。

道路部長

改修計画まではできていないのですが、老朽化していることは事実ですので、考えていかなくてはいけないと考えています。今のところ、それまでの間はエレベーターを使っていたらいいと思います。他にもいろいろなところがありますが、バリアフリーということで考えれば、エレベーターがあれ

ばバリアフリーの機能も果たしているということで、ついていないところもあるのご理解いただき、計画ができて改修するまでの間は何とかエレベーターを使っていたきたいと思います。

金森第6自治会

改修するときはぜひ踏み込んでいただきたいと思います。

道路部長

改修するときには検討して使いやすい形で考えていきます。

(司会) 地区連合会副会長

他になれば、少し早いですが、1部は以上で終わらせていただきます。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

私から20分ぐらいお話しし、その後、15分ぐらいご意見をいただくことにしたいと思います。

資料の紹介からスタートします。小さい冊子の資料の「平成28年度(2016年度)町田市課別・事業別行政評価シートダイジェスト」は、市の事業がどういってお金で成り立っているか等、毎年決算ベースでつくっているものです。平成28年度決算が出ましたので、それをもとに計算した内容のダイジェスト版がこの冊子で、15の事業について説明しています。本日は見方だけお話をさせていただきます。

4ページと5ページをごらんください。絵の左側に円グラフがあり、学童保育事業はどのようなお金で運営されているかが書いてあります。円グラフから分かるとおり、お父さん、お母さんにご負担をいただいている育成料があり、その他は国・都、市税で運営をされています。具体的な数値は、5ページの4番の表の右側に、金額と割合が書いてあります。事業を実施するにあたっての収入では、育成料が16.9%、残り83.1%が税金です。もう1つ、円グラフの下に四角い枠があって、入会児童1人当たりの学童保育におけるコストは1年間で約35万8000円かかっている、約3600人が学童クラブの入会登録をしています。1年間のコストのうち、育成料は月々約6000円ですから、掛ける12カ月で約7万円という計算です。収入全体の約17%を占めています。このような内容で、冊子で紹介しているすべての事業について、そういう割合がどうなっているかが書いてあります。

9ページには保育料についても掲載してあります。保育料の円グラフも、国と東京都からのお金がたくさんあって、次に市の税金が多く、残りの約14%

をお父さん、お母さんからの保育料で賄っています。1年間で1人当たり約172万円のコストがかかって、そのうちの約14%にあたる月2万円くらいの保育料で保育所は運営されています。最初のページに、この冊子で掲載されている事業がずらっと並んでいますから、どうなっているかはそれぞれのページを見ていただければわかると思います。

2017年度、平成29年度予算で先ほど話をしなかった部分の話をしたいと思います。1つは、この辺では南第二小学校と小川小学校は、来年、断熱等の改修工事を行う計画ですので、今年はその設計します。それから、高ヶ坂小学校にマンホールトイレをつくる予定です。また、つくし野駅の脇、森村学園のほうに向かう新小川橋という線路の上の橋の工事は、今年が2年目です。学童保育クラブは、南つくし野学童保育クラブの増築を行っています。畑があるほうへ少し広げています。雨水幹線の話は先ほどしました。それから、金森市営住宅の改修を行っています。そのような事業を進めています。

その他に、今年、南地域に限らず市全体として行っている事業のお話をさせていたいただきたいと思います。

まずは子どもに関係する話ですが、保育園の待機児童は、去年より47人増えて229人になりました。去年は180人ぐらいだったのですが、200人を超えています。来年どうなるかわからないのですが、来年いきなりゼロになることはないのかと思います。ゼロ歳から5歳までの子どもの数は毎年減っているにもかかわらず、保育園に新しく申し込む子どもの数はどんどん増えていきますので、なかなか待機児童が解消しないという状況です。

それから、本日10月2日に町田駅のそばに、保育園に子どもを送る「送迎保育ステーション」がスタートしました。これは少し空きがある忠生や木曾の保育園へ1歳以上のお子さんを連れていく送迎バスに来てもらって、お父さん、お母さんは駅の近くの、その「送迎保育ステーション」に子どもを預けて出勤できるようにしよう、というものです。そこへ迎えに来たバスが、子どもたちの保育園に連れていくことになっています。反対に帰りは、お父さん、お母さんは、子どもを保育園へ迎えに行くのではなく、駅の近くの「送迎ステーション」へ迎えに来ればよいということになります。利用しているのはまだ10人ぐらいしかいないのですが、今後利用が増えていくと思います。

昨日10月1日、小山田桜台のスーパー三和の裏側の谷戸池公園に市内で3カ所目の常設の「冒険遊び場」がスタートしました。運営は小山田桜台のまちづくり協議会と青少年の健全育成の人たちが行っています。

それから、小中学校の話です。エアコンが設置されていなかった小学校、中学校の特別教室ですが、中学校については夏休みに工事を行い、この秋で設置が完了します。これまで設置されていなかった残りの家庭科、理科等の特別教室もエアコンが入りました。来年は、小学校の特別教室のエアコンの設置を行います。普通教室はもっと前に設置が済んでいますので、これで小

中学校の普通教室、特別教室は全部エアコン設置が終わることになりました。トイレの改修についても、夏休みに和式から洋式に切りかわる工事を進めました。今後建て替えや改修工事を予定している町田第一中学校と町田第六小学校以外の小中学校は今年で全部終わります。小中学校の緊急の対策工事として進めてきた耐震工事とエアコン工事とトイレ改修の事業は、来年の小学校の特別教室のエアコン設置をもって、おおむね終了ということになりました。

次は高齢者の事業についてですが、高齢者に関係することについてはいろいろな需要がありますので、まずは介護予防に力を入れています。体操等の予防策を一生懸命行い、介護を受けることにならないように力を入れて取り組んでいます。あと、認知症の集中的な対策も今始まったところです。特別養護老人ホームは大分整備が進み、入所待ちは余りなくなりました。8年前には1年以内に入所できたケースが約45%でした。去年は申し込んで1年で入所できた人が8割なので、かなりの人たちは申し込みから半年とか1年で特別養護老人ホームに入れるまで状況が改善されています。東京23区や武蔵野市や三鷹市は入所待ちの期間が短縮する見込みがないので、市内ではなく、八王子市、青梅市、あきる野市等に特別養護老人ホームを整備しています。この前、葛飾区の人に聞いたら、特別養護老人ホームを整備している場所は群馬県とか茨城県が多く、葛飾区内で整備することはとてもあり得ないと言っていました。かなり遠いところまで行かないと特別養護老人ホームには入れない。私どもは地元の町田市内につくっていますので、市内で入所できる状況ができています。23区と、東京の市部でも東のほうの市の場合は、とてもこういう状況にはなりません。

それから、熱回収施設、つまり清掃工場ですが、この7月に着工しました。株式会社タクマという会社と約300億円の契約をしました。新庁舎は約150億円かかっていますので、今回建設する清掃工場は、その約2倍の金額になります。既に現場工事では、造成が進んでいます。来年は、建築工事にとりかかるつもりで工事を進めています。長期的な話では、平成33年に稼働するつもりで計画していますので、あと4年ぐらい工事はかかる見込みです。新しい施設は生ごみを発酵させてガス化し、メタンガスを取り出して、ガスエンジンで発電する設備も一緒に導入します。震災時のエネルギーセンターとして、仮に東電から電気が供給されなくても自立して電気を送れるような施設を考えています。東京周辺では、この設備を導入している、または導入するのは町田市だけです。全国的に見てもほかには兵庫だとか京都にあります。生ごみで発電しているのは首都圏では町田市だけです。

あと、多摩都市モノレールですが、現状では多摩市の南野から下小山田に抜けるルートに当たる道路がないので、その道路をつくらなければいけない。それができればあとはいよいよモノレールの延伸工事ということですが、実

は原町田の芹ヶ谷公園の中も大きな橋をかけないといけないのです。忠生公園にあるような大きな橋をかけて道路をつくらないとモノレールを通すことができない状況ですので、その辺りに住んでいる人に協力してもらうこととなります。どうしてもだめとか反対と言われそうで、今から心配しています。特に、芹ヶ谷公園の北側の斜面にかなりの家があり、その方たちの協力が不可欠です。この話がまとまるのがまだ大分先になりそうですので、モノレールを南町田方面に延伸するかどうかというのはその先の話ということになります。

それから、小野路球場は夜間照明がつき、この間の、東京都の秋の公式戦では、日大三高と桜美林が、それぞれ小野路球場で試合をしました。それから、平日は巨人が3軍の練習で使っています。

ラグビーのワールドカップのキャンプ地を誘致していますが、練習会場としてPRしている野津田の陸上競技場に大型映像装置の設置を進めています。ふるさと納税のパンフレットの右下に写真があります。来年2月にでき上がる予定です。この大型映像装置の費用に充てるため、ふるさと納税を通じて、皆さんから寄附を募っています。1万円でも50万円でも結構ですから、ぜひ寄附をいただきたいと思います。画面の大きさは、横が16m、縦が10mです。インチに換算していないのですが、大きな画面で、フルカラーで、リプレイの映像が映せるものをつくっている最中です。

あと、まだ先がきっちり見通せているわけではないですが、薬師池公園に「道の駅」をつくらうということで、事業を進めています。道の駅という国土交通省の認定は取れないのですが、道の駅のようなものを考えています。もう用地買収は終わり、進めています。これができると、今井谷戸から薬師池公園に上がっていった頂上の手前の左側に、野菜とか物産の販売と大きな駐車場、レストラン等ができます。この施設を2019年度に完成させるつもりです。オリンピックのタイミングでいろいろなところから町田を訪ねて来たときに道の駅みたいなものがあつたほうが、町田市をPRできますし、地元の農家にとっても大事なことだと考えています。

南町田駅周辺の再開発ですが、工事は順調に進んでいます。公園の工事は来年度に実施する予定です。今、調節池の工事とゆりのき通りから駅前へ行く1本の新しい道路、それから真ん中の宅地造成の工事が進んでいます。今のところ工事としては順調ですので、再来年の10月、11月には、新しいショッピングモールがオープンする予定になっています。

以上で報告を終わります。

《質疑》

南つくし野自治会

マンホール式のトイレは、順番に設置していくという話は随分前にお聞き

したのですが、早めてもらいたいときはどうすればよろしいでしょうか。トイレのことは会員みんなからすごく質問が出ますし、今年も11月の防災訓練でまず質問が出てくると思っているのので、自治会としてもお答えしたいと思うのです。

下水道部長

まずは医療拠点や救護の関係の施設を最初に設置してきています。これまでにほぼそこは終わっておるのですが、設置は毎年6校ずつ進めています。もちろん、どこも早く設置してほしいということなのですが、医療拠点等をまずやって、その後、地域性や学校の改修工事等も考えながら決めている状況があり、今後の設置計画ももう立ててあります。

南つくし野自治会

南つくし野小学校は今年の、もしくは来年あたりの6校に入りますか。

下水道部長

南つくし野小学校がいつになるか、手元にないものですから後ほど。

南つくし野自治会

言ったほうが早くなりますか。

下水道部長

難しいですが、協議してみたいと思います。

防災安全部長

今備蓄している仮設トイレはためるトイレです。マンホールトイレは、プールの水を入れておいて1日ごとに流してきれいな状態にできます。下水道部でつくっていただいています。ただ、実際の災害時には、仮設のトイレもありますが、町田市として工事現場や花火の会場等にあるプラスチックの簡易トイレの業者とも提携を結んでいます。災害が起きてすぐには入ってきませんが、ある程度避難が長期化するようであれば、簡易トイレを並べる体制も担当では考えている状況です。

(司会) 地区連合会副会長

最後に、閉会の言葉を〇〇さんからお願いします。

○閉会の挨拶(南地区町内会・自治会連合会副会長)

南地区の〇〇です。本日は石阪市長を初め、関係各位の市政懇談会へのご

出席、ありがとうございました。私どもの人数が少なくて申しわけない気持ちでおります。

やなぎ公園のゲリラ豪雨災害があり、本日はいつになく洪水対策の意見交換で突っ込んだ話し合いができたのではないかと考えています。市長が表明されている安全で住みたくなる町田づくりは、行政だけでもできませんし、地域の自治会だけでもできません。お互いに協働していくことが何より大切かと思えます。今後ともよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

以上